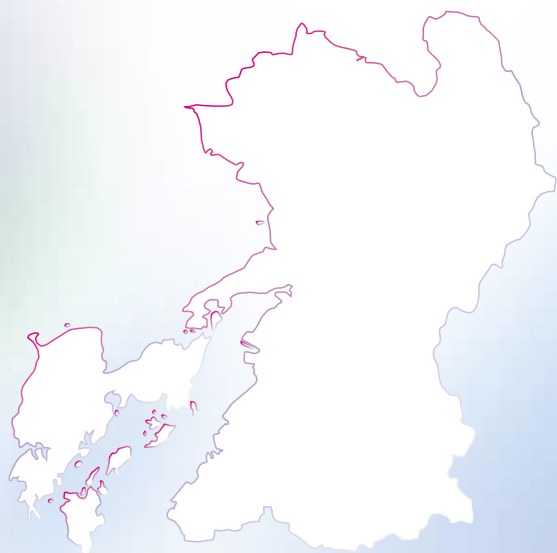


Jidaisha 2025 Program Report



次代舎

Kumamoto

Innovation

School

未来をつくる

熊本人のための

新しいビジネスの学校

次の世代の事業を生み出す知識とノウハウを伝える

新しいビジネスの学校「熊本イノベーションスクール次代舎」。

熊本のこれからの担う若手経営者・幹部候補の皆さんが

自社の強みを活かし、新たなマーケットを創造する

イノベーションの基礎力を養うカリキュラム。

熊本県が主催し、

日本のイノベーション教育の最前線を開拓するリ・パブリックと、

地域の経営学を支える層の厚い講師陣を擁する熊本学園大学の

コラボレーションで実現した、

中小企業のイノベーションを加速するプログラムで、

今年度で8年目になります。

このプログラムレポートでは、2025年度8期の歩みをまとめました。

プログラム設計の狙い

- ・ 社会の現状認識と課題解決に向けた問題意識の醸成
- ・ 事業経営を行うために必要な実践的な知識の涵養
- ・ 自社の課題、社会的課題を解決する新規事業のアイデアの具体化

次代舎の5つの特長

① 企業経営と事業創造の両方にフォーカス

企業経営の基本コンテンツを幅広く学ぶだけでなく、時代の変化を捉えた事業変革に取り組むための考え方やツールを実践的に学べるように講座を構成しています。企業の「両利き化」に対応できる人材を育成します。

② 「マトリクス型」の指導体制

精鋭講師陣による各科目の講義で視野を広げ、メンターとの科目を超えた実践的な議論で視座を高めていきます。また、講義では扱われないトピックについて講師と語り合う「サブゼミ」も設けており、受講生の具体的な困りごとにも対応します。

③ 徹底的なアウトプット

講義での学びと実務での気づきを講師やメンターとの議論で深める機会を多く設けています。中間報告会および最終報告会では、事業案についてより多角的に議論し、アイデアを磨いていきます。

④ 対面とオンラインによる重層的な学び

対面講義に加え、オンデマンド動画でいつでも復習ができる環境を用意しています。メンタリングも対面 / オンラインで受けることができます。

⑤ 自分で創り上げるテキスト「事業イノベーションノート」

毎回の授業後に、学んだことや課題の整理などを自分の言葉で綴ることで、教員の知見と自身の思考の軌跡がひとつに結び合わされた、自分だけのノートが出来上がります。

次代舎では基礎科目の学習とDX・AI活用や新規事業創出に向けた演習を行います。8期を迎え、プログラムとして成熟してきました。次代舎では、経営者層だけでなく、右腕、左腕になる経営幹部にも学んでいただき、社内で一緒に議論できる人数が複数必要であることから少なくとも3名は次代舎で学んでくださいとお願いしてきました。それで、参加企業のリピート率が高いというのが次代舎の特徴となっています。本年度は、新規参加企業とリピート企業のバランスがよく、多様な企業が参加し、色々な化学反応が起きました。リピート企業においては、新規事業が実際に動き出したり、会社において前提となった固定概念が崩れて、新しい価値観のもとで自社を捉え直したりする流れが出てきており、成果を実感できるようになってきました。また新規参加企業においても、新規事業案の策定スピードが以前より上がってきたことを実感することができました。

また、修了生の集いである次代舎ラボでは、修了生企業を訪問して当該企業の課題や今後の可能性についての理解を深め、修了生のその後についても共有することができました。8期生の修了生も、次代舎ラボで継続的に学びを続けていきましょう。

次代舎講師

Program Directors



関西学院大学
商学部
教授

吉川 晃史



熊本学園大学大学院
会計専門職研究科
教授

新改 敬英

次代舎 受講生の声

第8期は熊本県下の9社15名の受講生が参加し、ともに事業案を磨きました。そのなかの4名の方に、受講の感想をお聞きました。



株式会社アネシス工務課 建築部 工務課 課長 藤本 雅和さん

本講座を通じ、既存の枠組みを超えた視点と数字の裏付けと、現場の想いの両面から会社を捉える視点の重要性を痛感しました。特に、既成概念や先入観を払拭するために異業種との交流を行うことの重要性や、SCM やLTVを深く理解することが、顧客の行動や価値観を変えるイノベーションを生むきっかけになることを学びました。また、管理会計の学びから、付加価値の最大化と意思決定のプロセスを論理的に整理でき、財務視点を持つ重要性を再認識しました。今後は、現場の本質価値を追求し、納得感のある組織マネジメントと、バックキャスト視点での事業創出に邁進します。



株式会社熊本日日新聞社 業務局 デジタル・ソリューションビジネス部 松村 美里さん

過去に受講した先輩の「20代から学んでも後悔しない」という言葉に背中を押され参加しました。最初はイノベーションの意味すら分からない状態でしたが、第一線で活躍されている先生方の講義は、毎回新しい視点を与えてくれるだけでなく、学びを即座に社に反映することができ、生きたビジネススキルが身にいったと思います。何より、様々な業種仲間と自社の課題や未来をどっぴらんに語り合った時間は、かけがえのない財産です。この学びをどう活かすか、本当に大切なのはこれからです。次代舎の経験を活かしてこれからも挑戦し続けます。



株式会社丸栗ホールディングス マネジメント本部 人事総務部 係長 本田 和也さん

正直に言えば、イノベーションは特別な才能を持つ人だけが生み出すものだと思っていました。しかし次代舎での学びを通して、それは新技術の創出ではなく、既存の資産を組み合わせ、意味やビジネスモデルを再定義すること、つまり「当たり前」の再定義である気がしました。新規事業を考える前に自社を徹底的に分析し、強みや眠っていた資産を再認識できたことは大きな転機です。組織マネジメントや財務会計まで幅広く学べたことも大きな財産でした。受講生同士で同じ課題を本気で議論できた時間も視野を広げてくれました。この学びを自部署の仕事にも活かしていきたいです。



中尾社会保険労務士事務所 社会保険労務士 中尾 慎吾さん

今、最終報告会が終わり、安堵と幾許かの寂しさが入り混じった気持ちの中、夜道をトボトボと歩いて帰っています。突っただけの人も、丸まったこの人も、ここではないどこかに本当の自分があると感じているあなたも、学期の前では皆平等でした。熊本で唯一のビジネススクールで無二の講義を受講できたことを誇りに思います。僕しど丁単に接してくれた講師・メンターの皆さま、本当に有難うございました。忙しさに追われる日々のなかで、月光に照らされるみんなの学びの影がいつまでも消えぬことを切に願いながら、家路はまだまた続きます!

次代舎 14 講

プレフェーズ

1 キックオフセッション / 自社を知り、自分を捉えなおす

6月28日(土) 13:00-18:00
6月29日(日) 10:00-16:00

メンター
田村大 (株)リ・パブリック 共同代表
早嶋聡史 (株)ビス・ナビ&カンパニー 代表取締役社長
高橋直喜 ミーティングプラスコンサルティング(有) 代表社員

イノベーション創出に向け、現状分析と未来洞察の手法を学びました。PEST・VRIO分析を通じて外部環境と自社の強みを客観的に再定義し、グループワークで各社の課題を深掘りしました。固定観念を外し、未来からのバックキャストと現状とのギャップから、新たな事業機会を見出す視点を養いました。

8 中間報告会

11月8日(土) 10:00-18:00

メンター
馬場研二 サイバー大学IT総合学部 教授
田村大 (株)リ・パブリック 共同代表
早嶋聡史 (株)ビス・ナビ&カンパニー 代表取締役社長
高橋直喜 ミーティングプラスコンサルティング(有)

これまでの講義での学びを統合し、自社の現状分析と新規事業構想の中間発表を行いました。建設、食品、物流、メディアなど多岐にわたる受講生が、DX推進、人材育成、地域課題解決などの具体案を提示。メンターとの議論を通じてターゲットの明確化や収益性の検証を行い、最終報告会に向けた戦略の軌道修正と具体化を図りました。

2025年度(第8期)は、

プレフェーズ
マネジメント力養成フェーズ
事業創造実践フェーズ

イノベーションの現場と 原理を熟知する豪華な講師陣

新たな事業を創り出すイノベーションの現場をよく知る実践者・研究者が講師です。新たな事業アイデアを見つけ、実現していくための方法を学びます。

マネジメント力養成フェーズ

2 戦略基礎 / 事業戦略に関する基礎知識

7月16日(水) 18:00-21:00

講師
高橋直喜 ミーティングプラスコンサルティング(有)代表社員

事業戦略の土台を作るには、自社の現状把握が重要です。講義ではPESTや3C、VRIO等の枠組みで環境を客観的に分析し、特に市場の機会と自社の強みを掛け合わせるOS分析に注力。ここから競合と差別化された独自の「勝ち筋」を導き出し、ビジョン実現に向けた戦略立案の基礎を固める方法を学びました。

イノベーション原論 / 経営戦略の要諦:事業の立地選択

7月22日(火) 18:00-21:00

講師
三品和広 神戸大学 名誉教授

イノベーションを「技術革新」ではなく既存要素の「新結合」と捉え、誰のどの課題に応えるかを再定義する重要性を学びました。フォードやソニー等の事例を通じて、技術の用途を変えることで価値が劇的に高まることを実感した上で、自社の強みと外部環境の交点を見極め、事業の立地を戦略的に選択する思考法を修得しました。

組織マネジメント 基礎・応用 / 演習 (リーダーシップと組織運営)

8月8日(金) 18:00-21:00
8月21日(木) 18:00-21:00

講師
新改敬英 熊本学園大学大学院 会計専門職研究科 教授

戦略・組織・人材の運動性とマネジメント手法を学びました。基礎編では、戦略実行に適した組織設計や変革を阻む組織の慣性への対処法が示され、応用編では、人材育成において満足度よりも「納得感」の重要性が提示されました。行動計画と因果分析を重視したPDCAを通じ、成果と成長を両立させるアプローチを習得しました。

アカウンティング管理

11月17日(月) 18:00-21:00

講師
飛田努 福岡大学商学部 准教授、財務管理学会理事、日本会計教育学会理事

未来の指針となる管理会計と事業創出について学びました。損益分岐点分析で利益構造を可視化し、付加価値を高める重要性を確認。また実際の事例から、顧客の「ボヤキ」を解決しブランド化する差別化戦略を学習しました。加えて、不確実な環境下で事業機会を見出すアントレプレナーシップの思考法も習得しました。

事業創造実践フェーズ

10 事業創造ワークショップ / 演習

12月6日(土) 13:00-18:00
12月7日(日) 10:00-16:00

講師
山口高弘 60B Incubation Partners (株) 代表取締役

自社の資産を起点に、業界の常識を覆す「世界観」と「コンセプト」を構築する新規事業創出法を学びました。ニーズを追随するのではなく、独自の価値から顧客と市場を定義するアプローチを実践。業界の壁を分析し、それを突破する解決策とビジネスモデルを具体化する思考プロセスを習得しました。

DX(デジタル変革) / 演習

2026年1月9日(金) 18:00-21:00
2026年1月10日(土) 9:00-12:00

講師
栄藤稔 大阪大学 先端科学の学際研究機構 教授、順天堂大学医学研究科長 教授、株式会社未来社会デザイン 技術顧問

デジタル変革からAI変革への潮流と最新技術を学びました。DXの段階的プロセスや生成AIが自律的エージェントへ進化する現状を解説。AIを用いてビジネスモデル・キャンバスを作成する演習を通じ、AIをパートナーとして活用し、既存事業の効率化や新規事業創出につなげる実践的手法を習得しました。

受け身の授業にとどまらない 「アクティブ・ラーニング」によるプログラム構成

1回3時間の講義とケーススタディ演習を基本構成とし、専門的な教育と実践の経験を積んだ講師とメンターが、講義での学びを自社の事業に落とし込んでいく演習をサポートしていきます。

サプライチェーンマネジメント 基礎・応用 / 演習 (財務諸表からビジネス・モデルを変える)

9月22日(月) 18:00-21:00
9月29日(月) 18:00-21:00

講師
伊津野 範博 熊本学園大学商学部 教授

サプライチェーン・マネジメント(SCM)とデータ分析による物流・業務改善の手法を学びました。活動基準原価計算(ABC)や在庫管理、作業生産性の理論を解説。Excelのピボットテーブルを用いた出荷変動分析や必要人員の算出演習を通じて、経験や勘ではなくデータと数値的根拠に基づいてマネジメントを行う実践力を養いました。

オンデマンド+ アカウンティング財務

10月17日(金) 18:00-21:00

講師
吉川 晃史 関西学院大学商学部 教授

財務三表(BS/PL/CF)の相互関係と分析手法を学びました。複数企業の事例の比較を通じ、数値の違いからビジネスモデルの差を読み解く演習を実施。キャッシュフローの推移や自己資本利益率(ROE)、資本コストの概念も扱い、数値的根拠に基づいて企業の実態と戦略を評価する視点を体感しました。

マーケティング基本

10月31日(金) 18:00-21:00

講師
早嶋聡史 (株)ビス・ナビ&カンパニー 代表取締役社長

マーケティングの基礎と実践を学びました。4PやSTP分析を通じ、商品開発よりも先に「誰に売るか」を定める重要性にフォーカス。自社商品や菓子の事例から、ターゲットフローの推移や自己資本利益率(ROE)、資本コストの概念も扱い、数値的根拠に基づいて企業の実態と戦略を評価する視点を体感しました。

実践マーケティング

2026年1月16日(金) 18:00-21:00

講師
早嶋聡史 (株)ビス・ナビ&カンパニー 代表取締役社長

4Pの整合性と「購買後の顧客観察(トルハイア)」を学習しました。単に売るだけでなく、顧客が購入後に商品をどう活用しているかを分析し、戦略を修正する思考法を訓練しました。演習では自社事業案を用い、顧客心理や使用実態を深掘りして提供価値を再定義する、具体性の高い実務に即した議論を行いました。

最終報告会

2026年2月21日(土) 13:00-18:00

メンター
馬場研二 サイバー大学IT総合学部 教授
田村大 (株)リ・パブリック 共同代表
早嶋聡史 (株)ビス・ナビ&カンパニー 代表取締役社長
高橋直喜 ミーティングプラスコンサルティング(有)

約8か月にわたる学びの集大成となる最終報告会を開催しました。参加企業は、AIやDXを活用した新サービス、空き家再生、既存インフラを生かした見守り事業など、現場の課題に真正面から向き合った実践的なビジネスプランを発表。イノベーション創出と地域貢献の両立に向けた具体的な成果の構想が共有されました。

ファミリービジネス / 演習 (世代間ギャップを超えた次世代の事業創出)

2026年3月6日(金) 18:00-21:00

講師
馬場研二 サイバー大学IT総合学部 教授

最終報告会後の特別講義。組織形態や事業内容、規模に関わらず、あらゆる領域でイノベーションを起こす上で課題となる世代間ギャップ。まずは、各世代の基本的な時代課題に真正面から向き合った実践的なビジネスプランを発表。イノベーション創出と地域貢献の両立に向けた具体的な成果の構想が共有されました。

次代舎

Kumamoto Innovation School Jidaisha

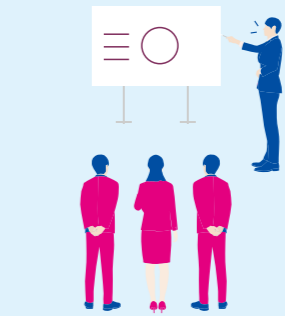
Comments from mentors

第8期を振り返って

メンター制度について

メンター陣との議論の場

事業創造の学びの場である次代舎では、講義の他オンラインや対面によるメンタリングを重ねながら、受講生ひとりひとりが実際に新規事業案やDX改善案を考えていきます。イノベーションの最前線で活躍するメンターから受ける本気のコメントは、大きな刺激となり、思考と行動を繰り返す中で事業アイデアが早期にブラッシュアップされ、実現可能性が高まります。



サイバー大学IT総合学部 教授 馬場 研二

最終報告会での受講生の皆さんの発表は、将来に向けて取り組むべき地に足ついた具体的なテーマを描いておられました。これから実際に新規事業に取り組んでいく過程では、方向修正も起きてくるでしょうが、次代舎の講義で得た知識のインプットと思考方法を活用して、構想した事業を実現していただきます。会社の将来への発展は、社員一人一人の創意から生まれてきます。修了生の皆さんから大きな輪が広がっていくことを願っています。この次代舎で得た学びの習慣をぜひ持ち続けていってください。



(株)リ・パブリック 共同代表 田村 大

次代舎が他のプログラムと異なる最大の特徴は、受講生が自身の現場の問題意識を出発点に、専門講義と並行して新たな事業や未来の課題解決に資するアイデアを創出し、メンターや講師の助言を得ながら磨き上げていく実践的なプロセスにあります。専門知識の習得に加え、それを即座に活用するこの過酷な活動があるからこそ、一般的なトレーニングと比べて格段に大きな成長実感を得られるのでしよう。特に、第8期受講生の最終報告は、各社の強みや制約を踏まえつつも、これからの変化に向けた挑戦的かつ実現性のある内容で、受講生のビジネスの日常と「イノベーション」が連なっていることが印象的でした。これは熊本経済の未来にとって明るいシグナルです。



(株)ビス・ナビ&カンパニー 代表取締役 早嶋 聡史

次代舎では、イノベーションやDXをいかに起こすかを目的に講義での学びと実践がありました。参加者の中には、はじめて体系的に学び、最終的に、実践に結びつけた方も少なくないと思います。今回の最終報告では、自ともくは自分で取り組むイノベーションについて議論を重ねながら形にさせていただきました。単に調べてまとめて終わりではなく、実際にメンターと議論し、実践し、仮説を検証する。概念のみで考えるのではなく、手触り感を持っていかに実装するかを考える過程は、とても大きな学びだと思います。引き続き、思考し、実務を伴って検証することを忘れずに、イノベーターとして楽しんでください。



ミーティングプラスコンサルティング(有) 代表社員 高橋 直喜

今年の最終報告会も大変刺激的で盛り多い時間でした。特に今年は、即実行可能な、地に足の着いた発表が多かったことが印象的です。自社の現状を丁寧に見つめ直し、課題を構造的に整理して具体的な打ち手へと落とし込むプロセスが明確に伝わってきました。論理性と実行可能性を兼ね備えた提案は、次代舎らしい実践的なもので、要点を捉えたグラフィック構成も説得力を高めていました。卒業生や役員の皆様が見守る中、緊張感を持って成果を放つ姿には、確かな成長の決意が感じられました。この一年の取り組みが、さらなる進化と挑戦へ繋がることを期待しております。



RE:PUBLIC



熊本イノベーションスクール 次代舎

【問い合わせ先】

熊本学園大学付属産業経営研究所(担当:学術文化課)

Tel. 096-364-5161(代表)

<https://jidaisha.org>



【後援】

九州経済産業局、熊本商工会議所、熊本経済同友会